

木のすまい新聞

「シリーズあれから3年」

— 愛媛県宇和島市 —

人口7万人、リアス式海岸、主な産業は真鯛・真珠に代表される水産業。お施主様ご夫婦が育った街の沿革です。故郷を後にするまで、暮らしはいつも海と共にありました。以下ではお引渡しから3年後の感想を聞いたお話の中から、印象深いものを手紙風にまとめました。



丹波市山南町の家 「海暮らし。山暮らし。」

木のすまい 仕様の家

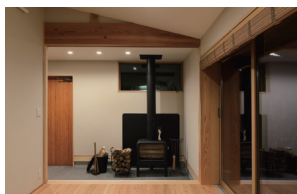
「もう秋ですね。ここで暮らし始めてから早3年が過ぎました。最初、あなたがこの見知らぬ土地に住むと決めた時、私には不安がないわけじゃなかった。(中略)

ここでの暮らしは今ではすごく気に入っている。たくさんママ友が遊びに来てくれるし、子どもは薪ストーブが好きで、火入れからずっと見ている(笑)。いつだったか庭でバーベキューをしていたら、近所の人たち

も集まって10組を超えていた！なんてこともあった。子どもたちにもふるさがあることもすごくいいことだなんて思っている。(中略)

この素晴らしい日々にあると思う。今さら涙を流そうとは思ってはいなかった。けれど...あらためてこの3年間を、この土地での暮らしを思い返してみると、あつたかくって、微笑ましくって、やっぱり(涙)。」

これからも、ここでの暮らしを楽しんで頂ければと思います。感想をお話ししてくださり、ありがとうございました。



「設計・施工」

ひょうご木のすまい協議会 正会員

KOTOS

(株)株式会社 由良工務店

暑い日に家に帰って
最初にすることは？

暦の上では立秋を過ぎ、秋に入ったとはいえまだまだ暑い日が続いております。気温が高い時は身体から放熱し体温を調節することが難しく、暑さをどのようにしのいで快適に過ごすが、住まいの大きなテーマでもあります。

暑い日に締め切った自宅に帰宅したときに皆さんなら、①エアコンのスイッチを入れる、②すぐに窓を開けて室内の空気を外気と入れ替える、どちらの行動をとりますか？後者(②)の方が健康的だと分かっているにもかかわらずそのような行動をとるとは限らないのではないのでしょうか。

猛暑が続くと、エアコンに頼りたく気持ちちはわかりますが、エアコンは部屋の中の空気を入れ替えてくれるわけではありません。オフィスでは室内でひざ掛けをした女性がいたり、冷房病という言葉があるように、身体がだるくなったりと逆にエアコンを使うことでの弊害があるのも事実です。

私たちが健康的な生活を送る上でも、まずは窓を開けて空気を入れ替える、こういった習慣を身に付けたいものです。

ひょうご木のすまい協議会

会長 三渡 眞介

木の家

ひょうご木のすまい協議会

Vol. 98
September
October
2023

地域材利活用
建築デザイン
コンテスト in 兵庫
Architectural Design Contest Using Local Materials
第4回

主催/ひょうご木のすまい協議会 共催/ひょうご木づくり王国学校
協賛/ひょうご木の匠の会・兵庫県木材協同組合連合会
後援/兵庫県・兵庫県木材業協同組合連合会・神戸新聞社

地域材利活用コンテストの
・公開審査のご視聴
・アンバサダーのご応募
はコチラから



詳しくは『地域材利活用建築デザインコンテスト in 兵庫 運営事務局』までお問い合わせください。TEL:0790-64-0150(月～金 10:00～16:00)

公開審査

2023年11月25日(土) 13:30～16:30

当日下記のQRコードよりご視聴ください。

※事前のお申し込みは必要ありません。
※下記のQRコードは、公開審査前日まで地域材利活用コンテストのHPへアクセスします。

審査員



三澤 文子
(Ms建築設計事務所代表)



神家 昭雄
(神家昭雄建築研究室代表)



吉井 歳晴
(WIZ/
WIZ ARCHITECTS代表)



今津 修平
(株式会社Muff代表)